

令和7年2月10日（月）

令和6年度第2回多摩市みどりと環境審議会議事録

午後2時00分開会

○環境政策課長　それでは、定刻になりましたので、令和6年度第2回多摩市みどりと環境審議会を開催いたします。

本日は、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

まずは、本日の出席者の確認をいたします。なお、M委員とO委員とQ委員とL委員は欠席、I委員はリモートでの参加、そしてP委員につきましては、20分から30分遅れると連絡をいただいております。本日の出席委員は、リモートのI委員、そしてP委員を含め、13名です。

多摩市みどりと環境審議会規則第3条により、委員の過半数が出席しておりますので、これより令和6年度第2回多摩市みどりと環境審議会を開会いたします。

初めに、本日の資料についてですが、お手元のタブレット端末の中に格納しております。前回の説明と重複いたしますが、使用方法については、下から上にスライド、もしくは右から左にスライドさせると、次の頁に移動することができます。戻る場合はその逆です。また、画面下に本のマークとアルファベットで「頁」と書かれた箇所があるかと思います。そこをタッチしていただきますと、頁を飛ばして表示させたい箇所まで資料を移動することができます。

注意点としましては、画面上部、真ん中の辺りに「見る」というタブがあり、現在選択されている状態かと思います。これを「書く」や「消す」を選択してしまいますと、資料の頁送りができなくなりますので、必ず「見る」が選択されていることを確認して使用してください。万が一ホーム画面に戻ってしまった場合には、右下のアルファベットで「ビジネス」と書かれた赤いアイコンをタッチしてください。

使用中、操作についてお困りのことが発生しましたら、事務局までお知らせください。

続いて、本日の日程について御説明いたします。

机上に次第を置かせていただいておりますが、初めに委員に変更がございましたので、委員変更に伴う委嘱状の交付等を行い、その後、報告案件が2件、多摩市第2次多摩市みどりと環境基本計画の結果についてと、TAMAサステイナブル・アワード2024－2025についてとなります。また、市の事業の御案内にはなりますが、3月1日の土曜日、

そして2日の日曜日に、パルテノン多摩で多摩エコ・フェスタが開催されます。そのパンフレットを置かせていただきましたので、御都合がよろしければお越しいただければと思います。

それでは、次第に従って進めさせていただきます。

次第の2番目、委嘱状交付、委員紹介、挨拶に移らせていただきます。

このたび、事業者代表として御参加いただいております東京ガス株式会社東京西支店のR様が、組織内役割変更に伴い、同社副支店長のK様へ変更となっております。K様への委嘱状につきましては、時間の都合上、大変恐縮ではございますが、机上配付とさせていただきますたく存じます。机上の委嘱状に記載されたお名前について、お間違いがないか確認をお願いいたします。よろしいでしょうか。

なお、任期につきましては、R様の残任期の令和8年6月30日までとなります。

委嘱状の確認もできましたので、ここでK様から一言自己紹介をお願いできればと思います。K様、よろしくお願いいたします。

○K委員　ただいま御紹介いただきました東京ガス東京西支店のKと申します。どうもいつも大変お世話になっております。

私、名刺で環境コーディネーターという、何か分かるような分からないような役職に就かせていただいているのですけれども、もう名前のとおり、この会議とも密接に関わると思いますが、昨今CO₂の削減とか、カーボンニュートラルというのが非常に国際的に叫ばれている中で、私ども東京西支店、東京の20市、もちろん多摩市含めて20市の担当をさせていただいています。その中で、いろいろな形でCO₂を減らす御提案とか、御提案ってちょっと僭越なんですけれども、算段とか、そんなことを市の方とやらせていただいています。

あと、最後に私ごとですけれども、今年、去年ぐらいから、多摩市さんに非常にお邪魔する機会が頻繁にありまして、先ほど年明けから数えたら今日で6回目か7回目ぐらいで、たまたまそういう時期ということなんです、微力ながら精いっぱいやらせていただきますので、よろしくどうぞお願いいたします。

○環境政策課長　ありがとうございました。改めまして、K様、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、令和7年2月1日現在の委員名簿は、参考資料として資料の最後に掲載しております。

それでは、ここからの進行はH会長にバトンタッチしたいと思います。H会長、よろしくお願いいたします。

○H会長　皆さん、こんにちは。早いもので、前回11月でもう3か月たってしまいました、あっという間だなというふうに改めて感じておりますけれども、今年も改めましてどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、早速ではございますけれども、次第の3番目、議題ではなくて報告となりますが、報告の案件に移りたいと思います。

こちら、第2次多摩市みどりと環境基本計画の結果について、こちらですけれども、前回の審議会の中で少し議論というか、させていただきましたが、令和6年度から始まります新計画、第3次多摩市みどりと環境基本計画の進行管理の方法につきまして議論をいたしまして、アドバイス等いただきました。今回はそちらの前の旧計画、第2次多摩市みどりと環境基本計画の計画期間中の結果がまとまったものの報告となります。

こちらですけれども、事務局から令和5年度の結果報告と計画期間の総括について、御説明をお願いいたします。

○環境政策課長　それでは、第2次多摩市みどりと環境基本計画の結果について、資料1-1と資料1-2及び資料2を用いて報告いたします。

頁で申し上げますと、2頁、令和5年度多摩市の環境、多摩市みどりと環境基本計画年次報告書を初めに御覧ください。

なお、資料1-2は資料1-1の資料編の位置づけで、計画における取組関連事業の実績や、調査結果などをまとめたものとなります。こちら資料1-2の説明については、本日割愛いたします。

では、説明を行います。

本計画は、平成24年（2012）年度から令和5年（2023）年度までの12年間の計画期間としていることから、本日は計画の最終年度に当たる令和5年度の結果の報告と、計画期間全体の結果の報告をさせていただきます。説明は、12年間の全体の結果のほうを主に説明させていただきます。

まず初めに、資料1-1を御覧ください。令和5年度の結果の報告となります。概要については、18頁の第2章、令和5年度の実績と評価（概要）からとなりますが、頁をめくって、25頁をまず御覧ください。

旧計画となるため、再度、よろしいでしょうか。

○H会長 25 頁ですか。

○佐藤環境政策課長 第2次多摩市みどりと環境基本計画、旧計画となるため、再度計画に定められた各取組の進捗状況と、結果、短期目標の達成度等の進捗状況を示す管理指標のつながりについて説明をします。計画における各取組と管理指標の関係を図で表すと、25 頁のような図となります。自然環境分野、生活環境分野、地球環境分野、環境情報分野の4 分野ごとに施策方針があり、それぞれについて取組が定められています。図の右側は管理指標になります。全部で19 個ございます。図の真ん中にある矢印で、施策方針、取組に対応する管理指標を示しています。管理指標の評価により、各施策の進捗状況が分かる仕組みとなっています。

26 頁を御覧ください。ここからは、各取組の進捗状況を示しています。26 頁では、自然環境分野のA「生物多様性に配慮したまとまりのあるみどりの保全」という施策方針の各取組の進捗状況になります。進捗状況は、矢印で「取組が前進した」、「変わらない」、「取組が後退した」のいずれかで評価しています。表の右から2 番目の列が、令和5 年度の各取組についての評価になります。一番右の列に記載している掲載頁は、各取組の評価理由などを記載しています。

なお、本日の資料は、タブレットに掲載する関係上、次第から最後、資料までを通し頁で付しております。表に記載されている掲載頁を御覧になりたい場合は、7、タブレットに掲げられている頁の頁数に7を足してもらうと、ごめんなさい、報告書に記載された頁に7を足してもらって、それをタブレットの通し頁のところに当てはめていただきますと、それぞれ見てとれるかと思います。このような形で、以下、4 分野に関わるそれぞれの取組についての進捗状況の評価をしています。

では、タブレットの30 頁の下を表を御覧ください。取組の進捗状況のまとめになります。取組は全部で73 項目あり、令和5 年度について、4 分野合計で前進したものは30 項目、変化なしは43 項目、後退したものはゼロ項目になります。

31 頁を御覧ください。ここからは管理指標の進捗状況の評価になります。各管理指標の評価は、表の右から2 番目の列で行っています。評価は「目標を達成」、または矢印で「前進」、「変わらない」、「後退」のいずれかで表しています。評価の方法は、表の右から3 番目の列にある目標値（R5）の視点で、表の右から4 番目と5 番目にある令和5 年度と令和4 年度の実績を比較しています。

32 頁の下を表を御覧ください。管理指標の進捗状況のまとめになります。管理指標は

全部で19項目あり、令和5年度について、令和4年度と比較して、4分野合計で目標を達成したものは3項目、前進したものは5項目、変化なしは3項目、後退したものは8項目になります。

令和5年度の結果の報告は以上です。

なお、先ほども申し上げましたが、136頁から192頁までの資料1－2は、資料1－1の資料編の位置づけとなり、計画における取組関連事業の実績や調査結果などをまとめたものになりますので、本日、説明は割愛させていただきます。

次に資料2、頁でいいますと193頁を御覧ください。よろしいでしょうか。こちらは旧計画、第2次多摩市みどりと環境基本計画の計画期間、12年間全体の結果の報告をさせていただきます。

194頁を御覧ください。まず計画の振り返りとして、まず計画の位置づけ、計画の期間、計画の対象範囲を説明いたします。

初めに、(1)計画の位置づけについてですが、第2次多摩市みどりと環境基本計画の策定時には、上位の計画は第五次多摩市総合計画でした。参考に、現行の第3次多摩市みどりと環境基本計画は、第六次多摩市総合計画を上位計画としています。また、第2次計画の内容は、環境基本計画とみどりの基本計画で構成されていましたが、ちなみに現行の第3次の新計画のほうでは、それらに生物多様性地域戦略、地球温暖化対策実行計画区域施策編、そして地域気候変動適応計画が加わっています。

次に、(2)計画の期間についてですが、当初は平成24（2012）年度から平成33（2021）年度の10年間でしたけれども、令和2年6月に多摩市気候非常事態宣言を行いまして、第3次多摩市みどりと環境基本計画新計画の計画策定を2年間延長して、旧計画につきましては令和5年度まで延長され、合計12年間の計画期間となりました。

本計画の対象範囲は、(3)計画の対象範囲のとおりです。

195頁を御覧ください。第2次多摩市環境基本計画の構成を示しています。長期目標は、策定時から20年後に向けて目指すところを設定しています。その下の短期目標は、長期目標の実現を目指し、策定時から12年間に達成を目指す目標を設定しています。さらにその下に、短期目標を達成するための施策方針、施策、取組が連なります。短期目標以下の進捗状況は、19項目の管理指標で評価しています。これから報告をさせていただく計画期間全体の結果につきましては、管理指標の進捗状況に着目して説明を行わせていただきます。

196頁を御覧ください。第2次多摩市みどりと環境基本計画の4つの分野の1つ、自然環境分野の管理指標の評価になります。全部で5つあります。上の表の一番右列の基準値からの比較に記載する評価が、計画期間全体の結果の評価になります。「目標を達成」、または矢印で「前進」、「変わらない」、「後退」のいずれかで評価しています。評価の方法は、表の右から4番目の列にあるR5、これは計画の最終年度に当たる令和5年度の実績ですが、これと表の右から3番目にある目標値（R5）と、表の左から4番目の列にある基準値（H22）との比較になります。4頁の下表は、自然環境分野の管理指標の総括になります。表の上部分は令和5年度の実績、令和5年度と令和4年度の実績との比較を示したものです。参考としてお示ししています。最終実績は、表の下部分でお示しています。自然環境分野では、管理指標の③みどりの維持管理活動に参加したことがある市民の割合及び⑤地域の歴史文化活動に参加したことがある市民の割合といった、市民の参加を指標としたものは、目標未達成、基準値より後退となってしまいました。また、計画期間中のコロナ禍が及ぼした財政への影響により、管理指標の④更新が必要な公園緑地の施設更新達成率については、前進したものの目標未達成となりました。

197頁以降は、それぞれ管理指標ごとの考察となります。例えば、今説明いたしました管理指標の③みどりの維持管理活動に参加したことがある市民の割合についての説明については、199頁を御覧ください。表の上から順に御覧いただくと、先ほど説明したとおり、管理指標としては最終的に目標が未達成であったことを示しています。その下の計画関連取組項目は、管理手法に関連のある取組項目を示しています。その下の評価解説では、目標の達成または未達成の理由と計画期間中の取組を記述しています。さらに下の今後の対応は、評価等を踏まえた今後の対応と、現行の第3次多摩市みどりと環境基本計画に関連する取組項目を示しています。みどりの維持管理活動に参加したことがある市民の割合は未達成となったことを踏まえ、今後の対応としては、継続的なみどり活動の維持や、その人材育成を進めるべく、管理指標をみどりの市民環境団体数として設定し、活動環境を整え、市民によるみどりの保全・活用の取組を支援するとともに、担い手の拡充や支援の拠点体制づくりを進めることとしています。

このような形で、以後全ての分野、全ての管理指標について考察の取りまとめを行っています。本日は時間の関係上、全てを説明している時間がないため、これからもう一分野、もう一指標のみを説明して、残りはお読みいただければと思います。

では、もう一分野として、今度は皆さんの関心も高いと思われる、地球環境分野のエネ

ルギー対策の考察について説明をいたします。

208頁を御覧ください。第2次多摩市みどりと環境基本計画の4つの分野の1つ、地球環境分野の管理指標の評価になります。全部で7つございます。7つのうち5つが未達成となりました。これは、新型コロナウイルスの影響を受けたものとして考えており、②再生利用率、そして⑦ミニバス利用者数がありました。④市内の二酸化炭素排出量は、個々の二酸化炭素排出量や使用エネルギー量は減らしたものの、新たなデータセンター、また、物流センター等の建設効果を相殺するまでに至りませんでした。

212頁を御覧ください。管理指標の市内の二酸化炭素排出量についてです。個々の二酸化炭素排出量や使用エネルギー量は減らしているものの、新たなデータセンター、物流センター等が建設されることにより、家庭等で削減されている微量の二酸化炭素排出量を大きく上回る二酸化炭素排出量が計上されるため、施策の効果が見えにくい状況となり、未達成となってしまいました。今後は同様な指標をさらに細分化して、二酸化炭素排出量やエネルギー消費量に注視し、重点対策加速化事業を核としながら、各種補助事業や公共施設の省エネルギー化等の施策を展開していきます。

219頁を御覧ください。管理指標全体の評価となります。表の下部分のとおり、最終実績としては、管理指標19個のうち、目標を達成したものは5個でした。未達成14個のうち、前進したものは8個、変化なしは1個、後退が5個でした。第2次多摩市みどりと環境基本計画では、未達成となった管理指標の多くが市民参加型のものに対して、コロナ禍の影響を受けるなどした偶発的な要因のもの、その他人為的な要因でないものだったと分析しています。個々の取組につきましては、引き続き改善は必要と認識していますが、方向性は各管理指標に記述した今後の対応のとおりと考えています。

説明は以上となります。本日いただいた御意見としては、第2次多摩市みどりと環境基本計画に関する事務局の評価でお伝えした結果に対して、全体もしくはある程度大きくくりで助言やアドバイス、最近のトレンドなどを御提供いただきたいと考えています。前回の審議会では、現行の第3次多摩市みどりと環境基本計画の進行管理につきましては、そのようなことをお願いしていましたが、第3次多摩市みどりと環境基本計画の報告は来年度以降からとなりますので、先行して第2次の多摩市みどりと環境基本計画の最終結果からお願いするものとなります。いただいた助言、アドバイス等については、事務局で持ち帰らせていただき、第3次多摩市みどりと環境計画の中で、今後の施策に反映できるか否かも含めて検討したいと思います。よろしくお願いいたします。

○H会長 ありがとうございます。なかなかボリュームが多くて、何をやったらいいのかというところが、ちょっと自分の整理も含めて、もう1回振り返ってみたいと思います。

今御説明いただいた内容ですけれども、令和5年度まで、2023年度までに行われた環境基本計画に関する、いろいろな評価の取りまとめになります。最初に御説明があったのが、特に令和5年度はどうだったかということです。それは前年度と比較して、例えば多摩市がどういうふうなことをやって取組はできたかというような、多摩市の実際にやったやり方の評価というのが出てきています。その後、管理指標という言葉が出てまいりましたけれども、そちらはどちらかというと、やったことに対する評価じゃなくて、やった後にどういう影響が出て効果が出たかというものを見るためにつくった評価で、それを管理指標というふうに呼んでいます。ですので、ちょっと専門的に言うと、アウトプット指標とアウトカム指標というんですけれども、最初に申し上げたのがどれだけ頑張ったかというものと、次がどれだけ頑張ってどういう成果が出たのかというものを見ているのが最初の御説明になります。

その後、194頁以降からは、過去、2012年から2023年度までの全ての計画期間中に、特にこのアウトカム、どういうふうに管理手法が変化したかというのを取りまとめていただいたものになります。その中で少し目立っていたのが未達成項目です。少し達成できていないということが結構あって、それについては、コロナの影響ですとか、あとはいろいろ多摩市の中でのいろいろな施設とかの建築とか、そういったものによって達成できなかった部分が幾つかあるというような御説明があったと思います。

すごく大きな話ではあるんですけれども、こちらの評価につきまして、評価の結果につきまして、皆様から御質問でも構いませんし、御意見等あればぜひいただきたいと思うんですが、何かございますでしょうか。まだ分かりにくいことがあればお聞きしたいと思いますが、いかがでしょうか。難しいですか。どうぞ。

○C委員 僕は市民委員なので、この市民参加型の管理指標が未達成というのは一体どういうことになって、それが、前回買ってきました、この3次計画の中でどういうふうになかされているのかということをお聞きしたいです。

○H会長 ありがとうございます。こちら事務局からはどうですか。

○環境政策課長 市民参加型の取組につきましては、これまでの、昨年まで行っていた第2次多摩市みどりと環境基本計画の中でいくと、例えば、これは最初のところ、自然環境分野のところ、先ほどもちょっと説明しましたけれども、みどりの維持管理活動に参

加したことの市民の割合というところを先ほど説明させていただきましたが、こういったところにつきましては、人を集めるのにコロナ禍の影響があったりした、こういったことでなかなかできなかった、これがこのみどりの維持管理だけでなく、例えば自然観察会だとか、あとは、例えばまち美化キャンペーンだとか、そういった取組のところで大きく、やはり停滞してしまった時期があって、なかなかそれから盛り返すまでに時間がかかったというところでした。

第3次計画につきましては、それを反映して、例でいくと、例えば自然観察会みたいなものについては、人が集まらなくてもみんなが観察できるような仕組み、例えばこれ今、今年から第3次みどりと環境基本計画に沿って始めたんですけれども、生きもの調査隊というのを4月に募集して立ち上げたんです。それは、なかなか小さいお子さんまでは保護者の方に手伝ってもらわなきゃできないのかもしれませんが、スマホで自分の身近なところを観察して、それを見つけたものをスマホを通して市役所のほうにアップロードしてもらおうと。それを今集計している段階ですけれども、来年度以降はそれをリーフレット型にまとめて、ちょっと図鑑的な要素も含めて市民にも還元していくと。要は観察会はもちろん継続はしているんですけれども、観察会で多くの人が集まらなくても、またコロナとか、そういった思いもよらないようなことが起きたとしても、ちゃんと継続できるような仕組みというものを、新しい計画の中ではこれまでの反省を生かして新しい仕組みを取り入れて、今進み始めたという形、そんなような形で反省をきちっと私たちのほうで受け止めて、それを新たな取組に変えて進めているといった、1つの事例ですが、そんなようなところで、ほかの取組についてもいろいろ、市民参加がなかなかできなかったところは、新たな手法を取り入れて実施を再開しているというような状況です。

○H会長 ありがとうございます。C委員、よろしいですか。

○C委員 はい。

○H会長 先ほどの御説明あったとおり、市民参加に関する指標幾つかあるんですけれども、いずれもコロナとか、そういうようなものの影響を受けて、なかなか目標が達成できなかったというのが、こちらの報告の主なところでございますが、一方で、今事務局から説明があったように、幾つかみどりの維持活動とか、歴史文化活動とかというもののだけではなくて、新しい別な活動なんかに少し広げる形で、第3次計画では多分評価とかも考えていきたいという、そういう趣旨でよろしいでしょうか。

○環境政策課長 はい。

○H会長　　というふうに今考えているということだそうです。ありがとうございます。

ほかどうでしょう。いかがでしょうか。何かございますでしょうか。じゃあG委員、お願いします。

○G委員　　ちょっと確認になると思うんですけども、212頁の市内の二酸化炭素排出量のところについてですが、今後の対応として「指標をさらに細分化し」というふうに書かれているんですけども、これは家庭のほうの量と、データセンターとか、そういう企業のほうが排出しているのとかを分けていくとか、そういうようなイメージなのか、その辺りをもう少し具体的に教えていただけたらと思います。

○H会長　　お願いいたします。

○地域温暖化対策担当課長　　指標に関しましては、今3次の計画の中でも記載しているとおり、大きな枠という形で多摩市全体のCO₂量という形になっております。ただ、分析をするに当たっては、今業務用の電力というところが非常に大きくて、それに伴ってCO₂が大きく出てしまう。家庭のほうに関しましては、徐々になんですけど、マイナス傾向で減っているとかというところはしっかりと分析をして、そののところに對してどのような形でやっていけるかというふうなところを、指標を分けてという言葉がちょっと分かりにくいんですけども、しっかりと確認しながら分析をして対策を取っていききたいというところでございます。

○H会長　　ありがとうございます。よろしいでしょうか。

○G委員　　はい。

○H会長　　なかなか頑張っているけれども減っていないのはなぜだというときに、市全体で見ると、いろいろなセクターの方というか、いろいろな方がいらっしゃるの、なかなか原因が突き止めにくくなるということもあって、より細分化して、少しその辺りの指標を考えたいというのが趣旨かと思います。ありがとうございます。

ほかどうでしょう。いかがでしょうか。どうぞ。

○A委員　　この第2次の全体総括として、219頁にこの数値だけが挙げられていて、これ何かこの10年間の総括を文章化して評価するということは難しいことでしょうか。例えば、今後の課題というところで、第3次基本計画ではこのように取り組んでいきますというような、個々の項目ではあったんですけども、この令和5年度のまとめ、それからこの第2次のまとめを受けて、第3次基本計画を立てたときには見えてこなかった課題というような新たな課題の発見ということがもしあったのであれば、そこを捉えて今

後の活動に生かしていけると思います。もしなかったのであれば、全体総括としては、全て第3次基本計画を着実に実行していくことで解決できる、今の時点ではそのような状況にありますといったようなまとめは難しいのでしょうか。多分報告するのは、今後に生かすためだと思うんです。第3次基本計画も10年間という長いスパンなので、1回決めたからといって、状況の変化に合わせてどんどん見直していくことが必要でしょうし、そのために何か新しい気づきがあったのかなかったのかを教えていただきたいと思います。

○H会長 ありがとうございます。いかがでしょうか。

○環境政策課長 細かく見ていくとあるのかもしれないんですけども、全体を総括して見た中では、やはりコロナでできなかった、やりたいことができなかった、進めたいことが進められなかったというのがあります。そういったところをやはり反省として、今後いかなることがあっても、2050年までにカーボンニュートラルを達成させていかなきゃいけない、生物多様性を維持向上を今以上に進めていかなきゃいけないというところでいくと、第2次で私たちが経験した反省点については全て網羅して、第3次みどりと環境基本計画をスタートできたんじゃないかなというふうには認識はしています。だから、第3次みどりと環境基本計画の中で立てられた目標を着実に進めていくということが、これまでの反省、それを今度前進に変えるみたいなのところだと私は認識しているというふうなお答えになろうかと思います。

○H会長 よろしいですか。すごい大事なところだと思うんですけども、結局その多摩市の環境は、この期間中よかったんですか。悪かったんですか。総括って恐らく、頑張ったこととかを振り返るというものもあると思うんですけども、その結果として、この多摩市の環境というのは維持されたのかとか、維持されなくて少し何か失ってしまったものがあるのかとか、多分そういった観点で少し文章的な総括というのはあったほうが確かにいいよなというふうに感じたんですが、多摩市は結局この期間中は、コロナというのはありましたけれども、環境的にはあんまりよくなかったという結論になっちゃってよろしいんですかということです。

○環境政策課長 私どもとしましては、多摩市の環境は基本的には悪くはなかったと認識しています。というのは、昨年度の第3次みどりと環境基本計画の中で議論されてきた中でもありましたけれども、今回管理指標として立てたものとして、健康的な位置づけとして立てた指標があるかと思います。健康的な指標というのは、いわゆる環境基準的なものなんですけれども、そういったものはこれまで10年間の中の取組の中で、後退したと

いう認識はないです。きちっと最低限の環境はしっかり守られてきたんじゃないかなと思います。ただ、それにプラスアルファしてできたものがあるかないかというところでいくと、できたものもあればできなかったものもあると。だからより向上を目指すといったところでは、どれだけ進めたかなという反省点はあるんでしょうけれども、基本的に環境がきちっと多摩市については維持をされている。ただ、地球温暖化によって影響を受けたものは確かにあるんです。個々に見てみると、例えば外来種が増えたとか、もともと生息していた生き物が最近は見られなくなったとか、あと季節的な植物だとかがちょっと変わってきてしまったという、そういった影響は大分受けてはいるものの、私たちが生活していくための、健康で文化的な生活をしていく上での、例えば大気の環境基準だとか、あと水質の環境基準だとか、そういったものについてはきちっと守ってきたという自負はございます。そういったお答えになろうかと思います。

○H会長　　よろしいですか。個人的にもそのとおりだと思ひまして、やっぱり環境そのものはかなりきっちり維持されていて、この辺は多分大気汚染の指標ですとか、そういったものを見るとよく、きちんと管理されているというか、監視して見ているなというのが分かるんですけども、多分この結果から見ると、住民参加的なものとか、例えばそれはやっぱりコロナとか、そういう我々のコミュニケーションが阻害されるようなことが起こったのでできなかったとか、あとはやっぱり気候変動のエネルギーの話は、どうしても多摩市の中だけでは解決が難しかったりとか、環境の枠組みだけではちょっと何ともできないようなものがあって、それはできなかったということだとは思ひんです。多分その辺りは、これ全体総括の中に文章なり何かで説明をしておいたほうが、やはりいいんじゃないかなというのは、ちょっと改めて今の御意見いただいて思ひたので、もし可能であれば、そういうようなそこいらの状況を踏まえた上でどうだったかというものを文書等で御説明いただくというのは可能ですか。

○環境政策課長　　はい。それは意見を受け止めまして、まとめたいと思ひます。

○H会長　　ありがとうございます。

ほかはどうでしょう。いかがでしょう。何かございますでしょうか。よろしいですか、ほか何か。ささいな事柄でも何でも構わないんですが。じゃあG委員からお願いいたします。

○G委員　　さっき私が聞いた二酸化炭素の排出の、特に業務のほうの部分はちょっとやっぱり心配なところがあって、原因としてデータセンターが建設されたことというのがあ

るんですけれども、やっぱりこの世の中の今の動きの中で、AIとかでますますそういうデータを扱う施設が求められるということが言われていて、だからそれを考えると、今後さらに市内で増える可能性というのが十分あるんじゃないかと思うので、第3次のほう、あまり細かいところまで落とせないと思うんですが、やっぱり今後そういうところを結構気をつけていかないと、ますます達成が困難になっていくんじゃないかなというところを懸念しますので、今後いろいろと議論できるといいのかなとちょっと思いました。

○H会長 ありがとうございます。単に減らすのがよいというのは、何となく今我々の中で合意ができていようなできていないような状態だとは思いますが、多分何かのテクノロジーがいろいろ使えるようになるのかというのは、多分我々社会にとってはとてもいいことだと思うんです。だから、多分バランスで考えなきゃいけないときに、CO₂の排出量というのをどう捉えるかとか。やっぱり悪いものとして捉えられると、それはちょっと一元的な見方のような気がしますので、もう少し社会の中でどんなメリットがあるのかとかも含めて考えていければいいですし、それをもって環境の我々の様々な評価に使うという、何かそれだけだとちょっと誤解もありますし、難しいなというところがありますので、やっぱりまだ議論がすごく必要なのかなとは思いました。おっしゃるとおりだと思います。ありがとうございます。A委員。

○A委員 この報告書の発行といいますのはいつになりますでしょうか。令和5年度の報告書と第2次の報告書。

○環境政策課長 3月末付で、3月末までには発行する予定です。

○A委員 はい。すみません。これ市民の立場からしますと、令和5年度の活動が令和6年度の終わりというか、もうほとんど7年に出るというのは、ちょっと何というか、違和感といいますか、あるのですけれども、これはもう時期的にこれ以上は、データがそろえるのを待っているとこれ以上早めることはずっとできない形でしょうか。

○環境政策課長 そうですね。思われるところはそのとおりだと思いますので、第3次みどりと環境基本計画からは、なるべくちょっとペースを早めていきたいなと思っています。どうしても前の年の集計をして、各関係課から情報をもらうという作業をして、そこからいろいろヒアリングなどして取りまとめていくので、その集計、データを吸い上げるまでに、どうしてもやっぱり二、三か月かかってしまうというのが現状で、それを取りまとめていくとなると、どうしても夏ぐらい、秋ぐらいまでかかってしまう。今回はこの第4四半期の中で発行という形になりますけれども、第3次みどりと環境基本計画新計画

の中ではもう少し目標を早めて、少なくとも第3四半期までには発行していこうと。目標は第2四半期の終わりまでみたいところで目標を立てて、実際はちょっと第3四半期まで食い込んでしまうかと思いますが、その辺ぐらいまでには何とか仕上げて、やり方もどんどん改善しながらやっていけば、徐々に徐々に早めていけるのかなと思うので、そこはちょっと事務方の毎年の反省をちゃんと受け止めながら、徐々にペースを速めたいと考えています。

○H会長　　よろしいですか。

○A委員　　はい。

○H会長　　どうぞ。

○K委員　　先ほどG委員がおっしゃったのとかなりダブるんですけども、事前にやっぱり資料を見ていて、ほかのときでもこんなお話をさせていただいているんですが、CO₂の排出量で、やっぱりデータセンターって、ちょっと乱暴な言い方かもしれないんですけども、別枠で何か考えられたほうが市民の方は分かりやすいんじゃないかなと思うんです。ちょっと別枠という言い方が適切な言葉じゃないんですけども。

あとは東京都の、毎年春頃ですか、出されているオール東京62というやつなんか見ると、家庭用って、コロナによってちょっといって500万ですけども、やっぱり微減していますよね。多摩市のほうは。さらには、こっちの資料の頁が分からないんですけども、88頁の中で、1,500キロワット近くの、これ業務用使用量も一緒だと思うんですが、太陽光、これだけ入っているという事実もあるので、市民の方の努力とかはかなりCO₂の微減に反映してきていると思います。ちょっとそういうのを表に出されたほうが、今日、市民委員の方もいらっしゃいますけども、市民の方は腹落ちするかなと思います。データセンターを減らすというのは、これ結構難儀なことだと思うんです。正直言いました。それはそれでいろいろなメリットも、逆にCO₂以外にあると思うので、ちょっと分けて、家庭用とか、業務用とか、表に出してこれだけいけましたという見せ方のほうが、何か勇気が湧くといいますか、そんな気がいたしました。これは意見です、あくまでも。

○H会長　　はい。どうですか。

○地域温暖化対策担当課長　　ありがとうございます。やはり多摩市規模のところにしてはデータセンターみたいなものが増えてしまっていて、普通の自治体、ほかの自治体と比べると、業務用電力、業務用のエネルギーというところが非常に大きくなっていて、CO₂量が大きくなっているというのは多摩市の特徴だというふうに考えております。

先ほども一番初めに質疑あったんですけれども、そこは多摩市の特徴であって、ただ、そこに何も手をつけないでいいわけではないというところで、先ほどデータセンターというところのお話、いろいろ出たんですが、データセンター側でも結構いろいろな動きがあって、2030年までにデータセンターとして使用する電力を再生可能なものに切り替えていくというようなのを、各社、皆さん打ち出しているというような状況がございます。皆さんがそれぞれの立場で頑張っているというところを市民の皆さんにも伝えて、市民の皆さんも一緒にそれぞれの立場の中で頑張っていただきたいというところで、先ほどお話あったとおり、家庭では太陽光パネルをどんどん導入する方が増えているというところも大きく、市民の皆さんに頑張っているところ、もっと周知していかなくちゃいけないというところに関しましては御指摘のとおりだなと思いましたので、ちょっとそういうところも分かるような形で、先ほど全体のところの減らすというところは大きな目標として当然持つてなくてはいけないんですけれども、それに合わせた形で、個々でこういうところに頑張っています。こういうところで頑張っていますというのが分かるようなものを、ちょっとお伝えできるように工夫をしていきたいというふうに考えております。

○H会長 ありがとうございます。ちなみに多摩市では、排出係数を減らすような働きかけとかしていったり、そういうことを考えたりされたりしているんでしょうか。

○地域温暖化対策担当課長 個々の事業者のところに行って排出係数をという話はなかなかできていないんですけれども、ちょっと私どものほうで、別の事業等でお付き合いがあって、どういうCO₂削減やっていますかとかというところはお話を聞いて、そういうところでお話を伺ったものが、その次の年にはホームページ等で各社のCO₂削減の行動という形で出てきていまして、そここのところ、正直言いますと、多摩市よりも、各、大きな企業さんのほうが非常に進んだ取組をやっているというところは正直感じているところです。そういうふうなのも含めて、私どものほうは、そういういい取組に関してはほかの企業さんにも同様の取組をやってもらいたいという形で考えておりますので、何かの、今だとホームページで数社、実は企業の取組事例なんかも紹介しながらやってはいるんですけれども、そういうふうなのにも幅を広げていきたいなというふうに考えているところです。

○H会長 ありがとうございます。どうでしょうか、ほかに。どうぞ。

○J職務代理 では3点ほど。1つ目は今お話出たように、電力たくさん使う事業者さんが増えているんですけれども、それが再エネに切り替えていくとなると、CO₂の

計算に反映はできるんですけどつけたというのが1個で、電力使用量から計算していくと、個々の事業者さんがどの電力会社と契約して、CO₂ゼロのメニューなのかって分らないんです。それを計算すると結構大変で、ここだけ引いていますとかまたできなくなると、じゃあデータセンター全部にヒアリングするのかとか、1,500キロリットル以上のエネルギーを使っているところ全部やるのかとか、その辺難しくなってくるので、全部が難しければ、先ほどおっしゃっていたように、ピックアップしてホームページを公開するか、この後出てくるサステナブル・アワードなんかで表彰してあげる、そういう取組になってくるのかなというところが1点目です。

その場合も、エネルギー使用量自体は減っていないわけです。なので、この数字的には悪化していく。だけれども、CO₂は減っていく。そこ、CO₂減っていくのを市の公式な統計で反映できるかどうかというところと、エネルギーは増えているんだけど、再エネ使っているんですよというところをどう見せるかという、それがまず1点目ですけれども、これ、まずいかがでしょうか。

○地域温暖化対策担当課長 お話のとおり、実は今、このデータのところで73万6,000トンという形でCO₂量を記載していますが、こちらのほうは東京、オール東京62というところが、東京都内の市区町村のCO₂排出量を計算して出している一覧表から出させていただいたものです。こちらのほうに関しては、CO₂の発生量に関しては、特に事業者に関しては、エネルギー使用量のほうから案分をしてやっているものなので、こちらのほうの反映というのは非常に難しいというふうに、そちらの団体にも聞いております。実は私どものほうも全く同じことを思っていて、多摩市のところだとデータセンターの占める量が3分の1以上を占めているので、そういうデータセンター10社ぐらいがそういうふうにやったら、3分の1、ゼロになるんじゃないかと思って、その反映ができないかって聞いたら、いや、それは東京都全体から見ると東京都全体の使用量から割り振りをしているだけなので、それはできませんという形で言われました。個々のデータを全部調べてというのも結構言われたことがあるんですけど、それは現実的にちょっと、私どもではさすがに難しいという形です。

おっしゃっていたとおり、そこの部分というのは把握が難しいというところはあるんですけど、先ほど言ったとおり、各社が自分たちはCO₂ゼロにしていますよというふうなのを目指していますというのをホームページで挙げているのと同時に、実は数社は、24年度からCO₂をゼロの電力に切り替えましたというのが、もう発表しているところが

ございます。そういうふうなところに関しては、私どものほうがその、実は東京都のほうで1,500キロリットル以上のエネルギーを使っているところの企業一覧というのが出ておりまして、そのところから多摩市のところに出ている企業さんをピックアップして、その企業さんがどういう取組をしているのかというのを実は調べております。そのところで、大部分のところは2030年までにエネルギー使用量のCO₂を脱炭素化、CO₂ゼロのものに切り替えていきたいというふうなものを言っておりますので、そのうちの一、二社は、もう既に24年度から切り替えますというふうなのをホームページに上げているところもございます。ですので、正確なデータではありませんけれども、こういうふうな大きな企業さんはもう既に取組をして、企業としてCO₂ゼロを達成している企業さんもありますという形でお知らせをしていくというのは1つの方法かなというふうに考えております。

また、エネルギー使用量に関しましてはおっしゃっているとおりで、エネルギーの使用量なので、CO₂ゼロの電気を使ったところでエネルギー使用量は増えていくという形になります。ただ、もう一方で、エネルギー使用量に関しましては、新しい、例えば照明であったり、空調であったり、そういうところは最新のものはどんどん省エネ型というのが増えてきているという状況でございます。できる限り省エネを進めていただきたいというところに関しては、私ども変わっておりませんが、先ほどお話の中であったデータセンターというところに関しては、もう1つの社会基盤の1つで、携帯電話や通信というものがない生活というのがなかなか難しいというところを前提として、そのところに関しては、多摩市になれば違うところで電気使ってくればいいのかという話ではないというふうに私たちは考えております。私たちのところでつくっていただいたものが日本全国の社会基盤を守っているというふうな考え方に立って、できるだけエネルギーを使うのを少なくしてもらったとともに、そのような基盤はしっかりと守っていただきたいというふうなところで、できれば環境との両立というところを、ぜひとも皆様と一緒に考えていきたいと思っているところでございます。

○J職務代理　ありがとうございます。2点目は、資料1-1の短期目標のほうなので、31頁の辺りです。表の書き方の問題なんですけれども、進捗評価は、前年と比べて下がっているか、上がっているかで、この矢印が出ていると思うんです。前年より上がっているんだけど、目標値には全然到達しないというのも結構ある。結構というか、幾つかあるなど。具体的に言うと、例えば自然環境分野、一番上の③のみどりの維持管理活動の

市民の割合なんかは、目標にも達成していないし、基準値よりも下がっている。昔よりも全体に下がっちゃっている。でも、その前よりはちょっと上がったよという話なので、間違っているわけじゃないんだけど、印象がちょっと変わってくるなというのがあります。この辺どうすべきかなと私もちょっと悩みつ、ただ、目標達成かどうかということも大事ですが、目標から、もうちょっとで目標達成だったのか、いや、これはなかなか目標達成に遠いなというところぐらいは分かったほうが、より進捗管理という意味ではいいのかなという気はしました。ここを直してくれというよりは、そういう印象を受けましたという話です。

3つ目は、これは情報提供でして、G委員がいる前で言うのもあれなんですけれども、最近、生物多様性のNGOの方と結構お話ししてまして、そういうところに行くと、例えばいろいろな保険会社さんとかでも、コンプライアンスの点で、ある事業が生物多様性に悪い影響を与えていないかというのを自然保護団体にチェックしてもらっているんです。協定を結んだり最近しているんです。今CO₂の話とか、再生可能エネルギーの電気を使っているかという話では、もう割と一般化してきたし、それをやっていると加点する、褒めてあげるといふものもありますけれども、自然環境のほうも、やっていると褒められるというよりは、マイナスの影響を与えていたらもう減点されちゃう。金融とか、資金調達とかにも影響してきちゃう、そういう時代になってきたんだなと思ってまして、多摩市は幸いみどり率がめちゃくちゃ高いので、皆さん民間のビジネスの方がたくさんいらっしゃるところでそういう話なんかを紹介していくことは、多摩市の環境のみならず、多摩市の事業活動している方々に対してはいい影響というか、ぜひ知っておいていただきたいことじゃないかなと思いますので、そちら、単に情報提供ということでお話しさせていただきます。

以上です。

○H会長 ありがとうございます。事務局から何かございますか。

○環境政策課長 初めにいただいた進捗の程度というか、レベル感というところなんですけれども、まるっきり目標に到達していなかったのか、目標にもう一步のところだったのかというのは、同じ目標達成できないというところでもその辺の感覚というのは大事かと思うので、次回新計画の中では、ちょっとコメントのところに書き加えるような工夫を、全部が全部というわけじゃないんですが、ポイントとなるような取組については、そこら辺は記載していきたいと思います。

あともう1個、すみません。先ほど報告書の期限のお話があったかと思うんですけども、今ちょっと事務局とも話をしたんですが、出来上がったものを庁内の環境政策推進本部というところだったり、あと、今日この審議会の中にもお示しした後に発行という形になるので、どうしても発行が3か月も4か月もちょっと早まるというのは、なかなかこう改善というのは難しいのかなと思うんですけども、今日ここで令和5年度の説明をさせていただいています。今日もう第4四半期、それは少なくとも第3四半期には説明はさせていただくように改善をしていきたいと思いますので、そういった理解で、先ほどの説明は少し訂正をさせていただきたいと思います。

○H会長 ありがとうございます。ただ、これは本当に個人的な意見というか、感じたことになりますけれども、やっぱりそういうものなので、多分この内容を何かに反映していくというのは結構難しいのかなと思うんです。ですので、これはこれで総括をして、何があったかというのをしっかり理解するための材料として使うというのはよろしいかと思うんですけども、この内容を速報的に市民の皆さんに伝えるというふうなものは多分できないと思うので、多分それはそれで、もしニーズがあるのであれば、別のやり方を多分工夫されたほうがよろしいのかなと思います。やっぱり全ての結果がフィックスするまでちょっと時間かかるというのは、どうしてもこれは手続上どうしようもないので、これを使って市民の皆さんに全てを説明するというふうなことを考えられるのであればちょっとそれは難しいし、あと計画そのものに反映するのも、もしかしたらちょっと難しいかもしれないので、ちょっと違う仕組みそのものも考えてもいいかなとは思いました。すみません。これは雑感というか、ふと思ったことですので、またそのままやってくださいという話ではございませんけれども。

どうでしょうか。そろそろ、何かほかにございますでしょうか。何か。よろしいでしょうか。

○I委員 それでは、私からよろしいですか。

○H会長 お願いします。

○I委員 どうもありがとうございます。まずリモートでの参加となり、申し訳ありません。

私から2点あります。まず今後の対応につながるような分析、評価をしていく必要があると思いながら伺っていました。例えば、資料2の212のCO₂排出量の議論についてです。今までデータセンターの話がありましたが、CO₂の分析のこのグラフについて、

以前にどこかの資料で「家庭」と「業務」とに分かれた形で表示された棒グラフがあった記憶があります。そのような形で、今回の排出量の内訳が、家庭か、業務か、産業か、データセンターか、そういった内訳が表示された上で、ではこの排出量が増えた、または減ったという議論をする。そして、エネルギー消費量のグラフの対策の情報と見比べながら、この対策を取ったから家庭のところは排出量が減っていった、でもそれを打ち消すほどデータセンターからの排出量が増えていってしまった、だから今度はデータセンターに対してどう対応するべきか、というような内容が分かるような資料があると、より議論が具体的になっていくと思ったのが1点目です。

2点目は、例えばごみや、エネルギー消費の内容について、211頁に記載のスーパーエコショップの認定店舗数が増えていっているとか、またごみの再生率や再生利用率が増えたまたは減ったという記載があります。エコショップが増えていったことによって、エネルギー消費が増えたのか、減ったのかとか、ごみの総量が増えたのか、減ったのかとかというところについて、もう少しお互いの指標の関係性が分かるような資料があるとよい。そういう資料があると、もっとエコショップを普及していこう、エコショップの中でもこういう項目をもっと頑張っていきましょう、という議論ができたり、ごみの再生率や発生率を抑制できたり、それによってエネルギー消費量が業務部門で減っていくといった、お互いの指標の関係性が見えてきます。そういった議論して、政策に生かしていただけるといいと思っております。

以上、2つになります。

○H会長 ありがとうございます。何か事務局からございますか。

○環境政策課長 そうですね。これは第3次みどりと環境基本計画は分野横断的な取組ということで1章を起こしていますから、そういった視点で分析もちょっと工夫をしたいと思います。具体的にどうしていくのかというのは、また内部で検討します。

○H会長 ありがとうございます。原因と結果の関係がクリアになるように少し分析法を工夫されるとよいのではというのが、多分I委員の言いたいというか、趣旨かなとは思っています、やっぱりデータだけ出しても、これだけだと分からないんですよね、何をしているのか。なので、もうちょっと違う工夫で、ここを頑張ればよかったんだなとかというのが見えてくると、多分次につながるの、そこはぜひ検討いただきたいなと思いますので、よろしくお願いいたします。

ありがとうございます。ほかどうでしょう。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは最後に、ちょっと私から一言というか、御意見差し上げたいと思いますが、この指標、どういうふうに私たちがこれやってきて、うまくいっているかどうかというのは、やっぱりどういう指標を使うかというものですごく依存します。健康診断とかに置き換えるとすごく分かりやすいんですけども、例えばこの数値が落ちたらここが悪いなとかというのを、我々健康診断では持っていますよね。だけれども、環境に関して言うと、実はあんまりちゃんとしたものがないというのが、多摩市だけじゃなくて、いろいろなところを見ていまして現実かと思っています。ですので、何となくこう達成したんだけども、本当によくなったのか分からないし、達成していない、未達成が多かったとしても、あんまり環境がよくなっていないとか、悪くなっていないとかということも多々ありますので、ちょっとこの辺りを、どういうふうな管理指標を用いてこの多摩市の環境を見ていくのかというのは、多分これから考えていく、我々も含めて、いろいろアドバイス等も含めて考えていくことなのかなと思っています。多分ほとんどの自治体でこれがちゃんとつくられているところがありませんので、ぜひそういったところを先駆けて、こういうのをつくっていくということを一緒に少しでも尽力というか、少しでも手伝いというか、お手伝いができれば幸いかなというふうに考えております。

あと一方でもう1個ありまして、その管理指標とかつくるのはいいんですけども、特にCO₂の話とかもそうですが、細かくやればやることは物すごく大変なんです。大変なんだけども、出てきた割には分かっていたことだったりとかすると、やっぱりすごく難しく、これは多分ほかの行政の方なんかもあると思うんですけども、評価疲れというのもずっと、もう何十年って聞かれていまして、とにかく何か調べていろいろやるのはいいんですが、そんなに役に立たなかったということが結構多々あるかと思いますので、やっぱり適切な指標、だけれども、それだけに追われて実際の環境に関する施策とかの取組とかがおろそかにならない程度の、評価みたいなものをうまくつくっていくということが大事かと思います。これは我々も含めて、引き続き協力できればと思いますので、ぜひ一緒に頑張っていただければなと思います。よろしくお願いします。

○環境政策課長　　今H会長からおっしゃられたように、やはり第2次の計画につきましてもこのような形で評価していく中で、管理指標というものを1つの視点にして、今日議論していただいたんですけども、ちょっとお答えが詰まってしまうような部分もあったりして、なかなかこう、適切な管理指標の在り方というのは本当に大切なことなんだなというふうに感じています。

現行の第3次みどりと環境基本計画につきましても、皆さんの議論の中で今生み出されて、既に始まっておりますけれども、これについても、果たしてこのままでいいのかというところは、当時はこれで、それでフィックスしたわけですが、今後は時代も社会も変わっていく中で、今のこのままというわけにもいかないと思います。5年後に、第3次みどりと環境基本計画中間見直しを行うことになっております。そこに向けて、現行の第3次みどりと環境基本計画の管理指標がこのままでいいのかどうなのか、その辺も今から準備を始めなきゃいけないのかなということを、ちょっと今、また会長の御意見を伺って感じました。来年度以降はそういった視点も含めて審議会の皆さんに御議論いただく機会を設けていきたいなとは考えておりますので、どのような進め方をするのかはまた事務局内で検討しますけれども、また皆様に相談させていただきながら、いろいろアドバイス、助言をいただきたいと思います。ありがとうございます。

○H会長 ありがとうございます。皆様、御意見どうもありがとうございました。引き続き、多分すごい大事なテーマだと、話だと思いますので、皆様方も何かアイデア等ありましたら、ぜひ持ち寄っていただいて、こちらのほうで共有いただければと思います。何とぞよろしくお願いいたします。

それでは、本件についてはこれで以上とさせていただきます、次の報告の案件に移りたいと思います。

報告案件の2件目になります。TAMAサステナブル・アワード2024－2025についてになります。

こちら事務局から御説明お願いいたします。

○環境政策課長 それでは資料3、頁で申し上げますと220頁、TAMAサステナブル・アワード2024－2025について説明をさせていただきます。報告になります。

市では、地域や学校、企業などで実践されている持続可能なライフスタイルや、環境に優しい取組を広く周知することで、多くの人に共感と一人一人の意識啓発、行動変容につなげていくことを目的に、令和4年度からTAMAサステナブル・アワードを開催しています。今回で第3回目となります。今回も多摩市みどりと環境審議会の委員、学識経験者の皆さんですけれども、御協力いただきまして、審査を経て、5部門で7団体の受賞が決まりましたので、本日報告をさせていただきます。

各受賞を簡単に御紹介しておきます。

まず、地球温暖化対策部門では、本日ここに御出席していただいておりますけれども、東

京ガス株式会社東京西支店様が受賞いたしました。市内の小中学校向けに環境出前授業を年間通じて実施していることなど、次世代教育支援活動が称賛されたというようなところでございます。

そして、プラスチック・スマート部門では、みず多摩様が受賞されました。給水スポットを増やすため、店舗などに声をかけ、マイボトルを習慣化させる取組を市内で広げていること、誰もが参加でき、環境に優しい生活を定着させるきっかけとして、とても有効な活動であるということで受賞となりました。

生物多様性保全部門では、株式会社長谷工コーポレーション様が受賞されました。令和4年に環境省が認定する自然共生サイトに登録されました。自然観察会の開催やビオトープの整備、フィールド調査など、積極的に生物多様性保全に取り組んでいることが受賞の理由となっております。

次に、グッドライフスタイル部門では、m o t t E C O 普及コンソーシアムTAMA様が受賞されました。市内15店舗が連携してコンソーシアムを立ち上げ、食品ロス削減をビジネスにもつなげながら、外食を家に持ち帰って食べ切る、m o t t E C O というものを社会の中に定着させること、社会にもったいないという意識の再醸成に取り組んでいるということで、受賞となりました。グッドライフスタイル部門賞ではもう一つ、もう一方、I E の S 様、こちらの方は地球を見立てた風鈴作りで地球環境を考える取組を個人で広げるとともに、この方絵本作家でもあるんですけれども、活動しております。子供たちへの読み聞かせを様々なところで開催しながら、環境の大切さを伝え広げている活動が賞になったというところでございます。特に自分で作った風鈴で夏の暑さを和らげようという発想は、非常にユニークだなという評価もございました。

最後、中学・小学校部門では、永山小学校と青陵中学校が受賞しました。永山小学校では、大手アパレルメーカーと協力して、「届けよう！服のカプロジェクト」を総合学習の時間に展開していたこと、そして青陵中学校ではエシカル青陵、これをキャッチフレーズに、まずは教員自らが積極的にペーパーレスや食品ロスの削減に取り組んだこと、この取組によって、教員から生徒へ学校全体で行動変容が起きつつある点が受賞の理由となっております。

受賞団体については、たま広報や公式ホームページで紹介するとともに、土日ですけれども、3月1日、2日に行われます多摩エコ・フェスタ2025の中で表彰する予定です。多摩エコ・フェスタ2025につきましては、本日、机上のほうにパンフレットを置かせ

ていただきました。もしお時間ございましたら、ぜひ御来場いただければ幸いです。

報告は以上です。

○H会長 ありがとうございます。こちらのTAMAサステイナブル・アワード及びこちらの多摩エコ・フェスタ、こちらにつきまして何か御質問等ございますでしょうか。

○J職務代理 今回応募したところが全部通っているという状況ですね。3年前が一番申込者多くて、去年ちょっと減って、今年もちょっと減ってという感じで、若干応募者数のほうが尻すぼみになっているので、広報だったり、もっとたくさんいらっしやると思うんです。生物多様性で長谷工コーポレーションさんなんかはOECM、自然共生サイトについて結構すごいことですし、ほかにも企業さんで、さっきのデータセンターも含めて、取組しているところってたくさんあると思うので、特にそのビジネスの方も含めての広報というか、その辺りをぜひお声がけをしていただければと思っています。

○H会長 ありがとうございます。応募者に関しては、多分いろいろとこれから少し御検討されるのかなと思ってはいるんですけども、例えばK委員とかで、出されたときにこれは直してほしいとか、そういう何かあれば、後で構いませんので、事務局のほうとかに。例えば私の職場なんかですと、ちょっとしたことですごいペーパーを要求されたりすることがあって、何とかならんかなみたいのがあるので、多分、何かちょっとしたことがあれば、後でちょっとお聞きするのがよろしいかなと思いますので。よろしく願いします。

ありがとうございます。ほかどうでしょう、何か。よろしいでしょうか。

それでは、どうもありがとうございました。お時間がある方は、ぜひこちらエコ・フェスタのほうもよろしくお願いいたします。

それでは、報告事項は終わりになります。その他に移りたいと思います。その他にしまして、事務局から御説明はございますでしょうか。はい、お願いいたします。

○公園緑地課長 それでは、その他で報告1件させていただければと思います。資料、続きまして221頁目、御覧いただければと思います。約2年間、2年前から取組始めております多摩中央公園の改修事業のほうがいよいよ佳境を迎えてきておりますので、状況のほう報告をさせていただければと思います。

まず、資料の上段にありますとおり、多摩中央公園は開園より30年以上が経過しておりまして、老朽化も進む中で、パルテノン多摩のリニューアルですとか、中央図書館新設と合わせて、多摩センター地区活性化に資する新たな象徴となる公園を目指しまして、令

和5年6月より改修整備を進めてまいりました。これまで図書館前のBOOKパーク等、整備が完了したエリアから部分開園を行ってきておりますが、いよいよ4月5日に全面開園する運びとなりましたので、御報告でございます。

これまでの多摩中央公園の雰囲気を残しながら、施設や樹木の改修整備により、明るく、より快適な空間になり、遊びの森や公園を眺めながら飲食ができるカフェレストランも新たに誕生し、誰もが楽しみ誇れる公園に生まれ変わってまいります。

左下の絵が完成イメージパース図となっております。4月5日のグランドオープン時には、これまで市民の皆さんが中心となって築き上げてきたパークライフショーを開催いたします。また、園内にありますグリーンライブセンターと旧富澤家も同時に再開館となり、Park-PFI制度により誕生したレストランとフラワー&ベーカリーカフェもこの日にオープンとなります。左側の写真の上段のほうが、整備が完了し部分開園しているエリアの写真になります。一番下段がレストランや遊具広場の現時点での整備状況となっております。

ぜひ委員の皆さんも、リニューアルした中央公園に訪れていただけたら幸いです。

報告のほうは以上となります。

○H会長 ありがとうございます。今の御報告に関しまして、何か御質問等ございますでしょうか。はい、お願いいたします。

○F委員 グリーンライブセンターなんですけれども、やはり多摩市の人が集まる環境の拠点といいますか、人が集まることができる、活動することができる、情報をもらうことができるし発信することもできる場として、私はとても期待しているんですが、今どういう状況になっているのかということと、それから、今後そこで持たせる機能のようなものが、今の段階で教えていただければと思っております。今教えていただける範囲で構いませんけれども。

○H会長 お願いいたします。

○地域温暖化対策担当課長 グリーンライブセンターに関することですので、担当の私のほうからお話しさせていただきます。

グリーンライブセンターは、もともと自然との触れ合いや花やみどりの生活・文化を創造する拠点という形で、平成2年に開設された施設という形になります。その後、みどりに関する専門性等のところから、官民学が連携する恵泉女学園大学、あと市民団体である

多摩市グリーンボランティア連絡会、多摩市という３者で運営をしてきたというところでございます。

一方で、なかなかここ近年の地球温暖化、極端な気象現象等、環境施策というところに関しても取り扱っていききたいというふうなところの需要が強くなり、今回みどりと環境の拠点という形で、これまでのみどりの拠点から環境の拠点へというものを追加した形で、再オープンを目指しているというところでございます。

タイミング的にだったんですが、また３者連携という形で大学の皆様と連携した形で進めてきたんですけれども、連携していた大学のほうが開学というところが決まったというところで、そこに対して新たな事業者のほうが入って、今までのみどりの拠点プラス市民活動の拠点、環境の拠点となるべく進めていくという形で、新たな業者さんが１月２９日、先日ですが、決まったという状況でございます。この業者さんのほうは４月１日から運営が開始されるという形なんですけど、今、引継ぎという形で、今の恵泉さんと引継作業を行うことと、多摩市のほうと、今度環境の拠点であったりとか、市民活動の拠点としてのどのような役割を担っていくかというふうなところを、私どものほうと調整をさせていただいているというところでございます。

おっしゃっていただいたとおり、私たちもそこが環境の拠点であったり、市民活動の中間支援ができるような拠点であったりというふうなところを目指していきたいと考えておりますので、一緒に力を合わせてやっていきたいと思っております。

以上です。

○H会長 ありがとうございます。よろしいですか。

○E委員 はい。ありがとうございます。今までの今日の議論の中でも、やはり市民への発信であるとか、事業者の取組であるとかというようなものが、公園に遊びに行って、その足でちょっとグリーンライブセンターも寄ってみようかなと思ったところで、あのデータセンター、こんなことをやっているんだみたいなところが、そこで何となく分かるというだけで理解が変わってくると思うんです。なので、ぜひそういう意味でも大いに期待したいと思っています。そんなに広くはないと思いますので、あれもこれもというのはわがままかと思いますが、ぜひその意味でも有効な施設になるように期待しておりますので、よろしくお願いします。

○H会長 ありがとうございます。ぜひ期待したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

ほかいかがでしょうか。

○J職務代理　さっき言い忘れたのでいいですか。ごめんなさい。サステイナブル・アワードの件ですけれども、多少インセンティブがあってもいいかなとは思っているんです。今受賞、表彰されて市のホームページとかにも載ると思うんですけれども、極端な話、例えばもう小さい団体さんとか、小・中学校さんだと、3万円とか5万円でも、あるだけでも全然違うと思うんです。なかなか予算等も難しいと思うんですけれども、お金で渡すのか、例えば環境教育の資材というか、本を買うだとか、そういうのだったら使っていいよみたいな形であげたりとか、もしくはもう極端な話、環境課の課長さんが子供たちと1個の授業しゃべりに行きますよとか、そういうのもいいと思うんですけれども、何かしらインセンティブはあってもいいのかなと思います。

究極的に言うと、例えば企業さんの場合は調達のときのポイントにしてあげるとか、それはもうかなりレベル高い話ですけれども、公共調達のときに環境のところに書けるとか、それでも全然いいと思うんですが、お金を多少でも、そういうのも使わなくても幾つか工夫はできると思いますし、そういうのを逆に皆さんからアイデアを集めるのもいいのかもしれませんけれども、広報を頑張るのは結構大変なので、インセンティブも少し考えてもいいのかなと思いました。

以上です。

○H会長　ありがとうございます。インセンティブに関して何かございますか。

○環境政策課長　なかなかちょっと予算立てというのは難しいところだと思うんですけれども、お金ではない部分でのインセンティブ的なところは、ちょっとこれから勉強していきたいと思いますが、要は、このことを広く知ってもらって、多くの市民の方がそれに感化されて、活動が私たちでもできるんだというようなところの活動が広がっていくことがムーブメントにつながっていくのかなと思いますので、そのムーブメントのリーダー的な存在というところでサステイナブル・アワードを授賞させていただいているところもございますから、それによって多摩市が何かしてあげるじゃなくて、その団体さんが市内のリーダーシップに発揮できるみたいな、何かそういう立ち位置みたいなものも少し、その賞を取っておしまいじゃなくて、次にもつながっていくというようなところを何かこう見せてあげると、もうちょっと、私たち、私も僕もみたいな形とかあるのかななんてちょっと考えていますので、ちょっとまた、今の意見につきましては勉強させていただきたいと思います。

○H会長 ありがとうございます。そうですね。多分、いろいろ聞いてみるのも悪くないと思いますので、ぜひ必要であれば、いろいろ調べてみるのがよろしいかと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、ほか何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、以上で本日の次第のほうは全て終了となりますが、全体を通して何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、こちらで本日の審議会での議論は終わりになりますので、事務局のほうにお戻ししたいと思います。

○環境政策課長 本日も様々な立場からの多くの御助言、アドバイスをいただき、誠にありがとうございました。

今年度は今回の審議会で最後となります。また、令和7年度につきましては、予定では第3四半期に第1回、第4四半期に第2回と、少なくとも2回は今年度と同じようなスケジュールで開催を予定しておりますけれども、追加等があることも想定されますので、よろしくお願いいたします。その辺の予定につきましては、次年度になりましたら担当から日程調整の連絡をさせていただきますので、御協力よろしくお願いいたします。

また、今回の議事録につきましては、第1回同様、メールで確認依頼をさせていただき、確定後、ホームページ等に掲載していきたいと思いますので、引き続き御協力をお願いいたします。

それでは、本日第2回みどりと環境審議会、御協力ありがとうございました。次年度もよろしくお願いいたします。

以上です。

○H会長 どうもありがとうございました。

午後3時34分閉会